

# NPO法人ホッピング

令和1年度

(令和1年10月1日～令和2年9月30日)

## 活動報告書



# 令和1年度の事業報告書

## 令和1年10月1日から令和2年9月30日まで

特定非営利活動法人ホッピング

### ● 総括

---

新型コロナウイルスが、私たちの生活をいやおうなく変えてから半年以上が経ちました。当 NPO 法人では、事業として 地域子育て支援拠点事業の実施運営、ママ講師®運営事業、女性の就労支援事業などを実施しており、親子が集う「ドレミひろば」の開設や、交流会、ママ講師®によるイベント、就労支援セミナーの実施など、対面でのサービスが主であります。

しかし、コロナ禍において3月以降、和歌山市地域子育て支援拠点「ドレミひろば」は和歌山市からの要請により6月半ばまで休所となり、自主事業の交流会やセミナー等も、対面での実施が困難となりました。6月に開催を予定し準備をすすめておりましたが、ママ講師®主催のイベントも、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむなく中止といたしました。企業からの講師依頼、イベント等の依頼もなくなっている状況です。また、子育て中のスタッフばかりのため、学校等が休校になった際の対応にも、頭を悩ませました。

現状でできることとして、オンラインでの交流会や、講座、保活相談会の開催を始めておりますが「コロナ以前」にはもう戻れない中、新たな発想が求められていると感じています。

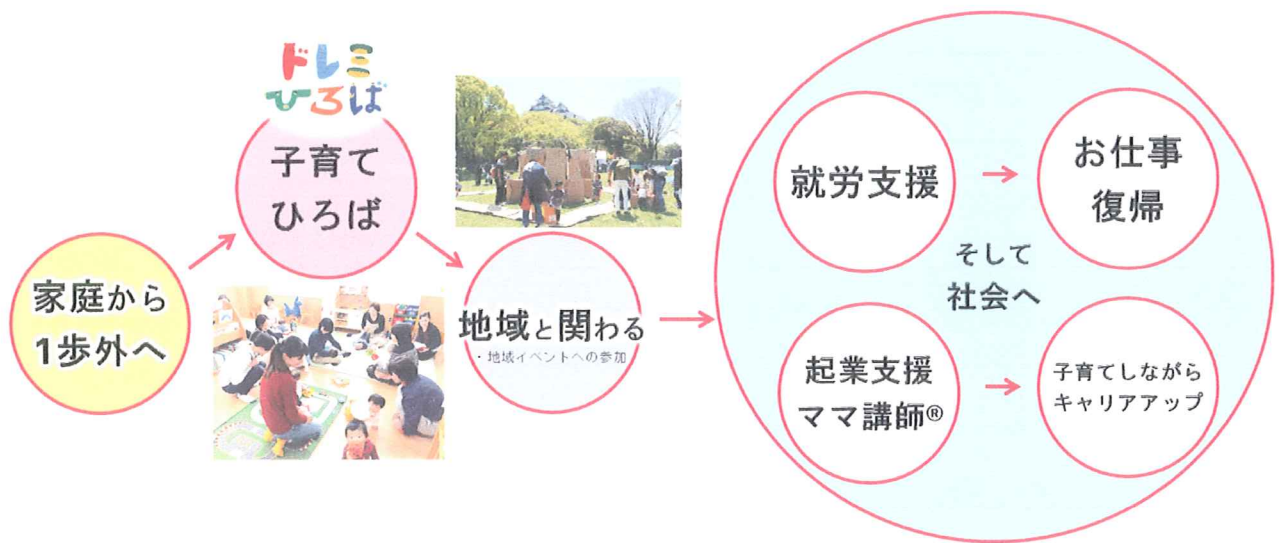
今期はコロナ禍でいろいろと大変なこともありましたが、うれしい出来事もたくさんありました。6月には「2019年度近畿ろうきんNPOアワード」大賞を受賞させていただいたり、8月には明治安田生命相互会社様より多額のご寄付を賜りました。

コロナ禍で新たに見えてきた子育て世代の課題もあります。企業の皆さま、自治体や地域の子育て支援団体のネットワークの皆さまのご協力もいただきながら、来期も活動を進めてまいります。

## ●ホッピングが目指す社会

私たちは、地域社会とママ達をつなぐ活動をしています。「家庭から地域へ」「地域から社会へ」と、ママたちがソフトランディングしていけるようにサポートをしています。

ママたちが「自分らしくいきいき」と社会へ戻っていけるような、子育てしながら社会参画できるような地域社会をめざし活動しています。



## ●ホッピングが行うこと

- 親子が気軽に集える広場の提供活動
- 子育て相談と情報交流活動
- 親子教室および講座の企画、運営事業
- 女性の就労支援事業（保活・両立支援）
- ママ講師®運営事業
- 養育支援訪問事業育児・家事援助業務（和歌山市より受託）
- 企業に向けた保活支援・定着支援サービスの提供

ママ達の社会参加からの社会復帰のサポートを継続的に行っていきたいと思っています。これらの活動は国連「SDGs（持続可能な開発目標）」で定められている目標にも合致します。子育て支援を通し、公共機関、他団体や民間企業とパートナーシップを組み、持続可能な地域社会を創ることを常に意識し、活動していきます。子育て以外の団体とも交わり、他団体との情報のシェアや協力をしていき、地域全体で子育て支援、ママ支援ができる環境作りを行っていきます。



## ●親子が気軽に集える広場の提供活動

### 【具体的な活動内容】

平成27年4月より和歌山市より委託を受け「地域子育て支援拠点（つどいの広場）事業」として「ドレミひろば」を開設し、今期も継続して運営しています。

【実施日時】月・火・木・金・土（第5土曜を除く）の週5日開所。

【実施場所】ドレミひろば 和歌山市田尻493-1（南保健センター併設）

【従事者の人数】9名

【受益対象者の範囲及び人数】ひろばを利用する子育て中の親子、家族 不特定多数

新型コロナウイルス感染予防のため令和2年2月28日から6月13日までの期間、和歌山市からの要請を受け休所しておりましたが、6月15日から再開し現在、予約制で開所しています。

【ドレミひろば来所数】

平成31年4月～令和2年3月の期間	487組	年間延べ利用者数	6,838人
令和 2年4月～令和2年9月現在	107組	利用者数	1,132人

## ●子育て相談と情報交流活動

### 【具体的な事業内容】

①子育て相談・・・ひろばスタッフである子育てアドバイザーが利用者の子育てに関する悩みや不安の相談に対応する。また専門の講師を迎え「子育て・発達育児相談」「母乳相談」を実施しました。

【実施日時】年間を通して随時

【実施場所】ドレミひろば

【従事者の人数】ひろばスタッフ 9名、講師 2名

【受益対象者の範囲及び人数】ひろばを利用する子育て中の親子、家族 不特定多数

・利用年数が長くなり、スタッフとの距離感が近くなった事で相談を目的で来所される方も多く、第2子出産後の相談や入園・復職についてなど、相談内容が段階的に変化していく方が多くいらっしゃいました。

・利用者との日常の会話からくみ取れる「相談」だけに関わらず、スタッフ間で定期的に情報共有をしながら長期的な見守りを行いました。

②情報交流活動・・・初回来所の際や利用者との会話の中で必要とされている情報をくみ取りながら、ニーズに応じた相談窓口、施設やイベント等、様々な情報提供を行いました。

また利用者同士が情報交流できるよう、年齢別の開放日を設けたり、パパが参加できるイベントの企画も行いました。

【実施日時】年間を通して随時

【実施場所】ドレミひろば

【従事者の人数】ひろばスタッフ 9名、講師 2名

【受益対象者の範囲及び人数】ひろばを利用する子育て中の親子、家族 不特定多数



## ● 親子教室および講座の企画、運営事業

### 【具体的な内容】

・ 開設当初から需要の多い【えいごであそぼ！】【ドレミふれあいじかん：ベビーマッサージ】を毎回講師さんを替えながら定期的で開催し、更に利用者からの要望をアンケート結果を参考に検討を重ね、毎月5～6種類の親子で楽しめる様々な親子教室・講座を開催しました。講師には、外部より委託の講師のほか、ホッピング登録のママ講師®を起用しています。またコロナ禍において、オンラインで手遊びや読み聞かせなどの企画もありました。

【実施日時】 年間を通して随時

【実施場所】 ドレミひろば

【従事者の人数】 ひろばスタッフ 9名

【受益対象者の範囲及び人数】 ひろばを利用する子育て中の親子、家族 不特定多数



## ●保活・両立相談を実施

### ①ドレミひろばにて 無料相談を開催（2019年10月～2020年9月まで毎月1回）

【具体的な事業内容】

ドレミひろば利用者の約35%は育休取得中のかたです。ドレミひろば利用者を対象として無料の保活・両立相談を実施しました。

育休中の方、子どもの入園をきっかけに働きはじめようと考えられている方も多く来所されています。

- ・ 保育施設に子どもを入所させるためには どのような手続きが必要？
- ・ 仕事と家庭生活の両立が不安、先輩ママたちはどんな風に1日を送っているの？
- ・ 熱を出した場合、やすめるのかな？
- ・ 近くに子育てを手伝ってくれるひとがない。

など、母親の抱える不安を少しでも解消できるように、傾聴につとめ、情報提供を行っています。

コロナ禍において、7月、8月、9月はZ o o mを使ったオンラインにて相談業務を行いました。

【実施日時】年間を通して随時

【実施場所】ドレミひろば

【従事者の人数】ひろばスタッフ 1名

【受益対象者の範囲及び人数】ひろばを利用する子育て中の親、家族 不特定多数

### ②有料での個別相談の実施

【具体的な事業内容】

2020年2月より、子育てママパパを対象に個別相談（オンライン個別相談）を始めました。

- ・ 就職活動の進め方
- ・ 復職相談
- ・ 保活相談
- ・ 仕事と子育ての両立不安
- ・ キャリアデザイン
- ・ 夫婦問題

などについての相談に対応しています。

【実施日時】年間を通して随時

【実施場所】Z O O Mによるオンライン

【従事者の人数】2名

【受益対象者の範囲及び人数】子育て中の親、家族 不特定多数



## ●保活支援のためのCheck list bookの提供

復職、再就職を目指す子育て世代にとって、避けては通れない「保活」。

「保活」を始める時に、すべきこととタイミング が一目でわかる

Check list bookを1冊100円で販売しています。

「保活」に役立つ情報もたくさん掲載し、保育施設見学時に、チェック項目

を書き込んでいける見学チェックシートが複数ページついています。

保育施設を比較する際に役立てていただいています。



## ● ワーママコミュニティ

### 産休・育休カフェの開催

2020年6月から2021年2月までの月1回開催（全9回）

#### 【具体的な事業内容】

産休・育休中のかたを対象にテーマを決めた交流会や、夫婦向け講座を開催しています。産休・育休からの仕事復帰にむけて、ママ自身の準備のサポートはもちろん、パパの気持ち改革もサポートしています。仕事、両立、育休明け後・子育てだけではなく、夫婦問題、健康問題にも目を向け、子育て世帯のキャリアと、ライフと、ヘルスをトータルでサポートし、共働き世帯に必要なノウハウをみんなで共有、働くママの仲間づくりを応援する「自助共助コミュニティ」の場を目指しています。6月～9月はオンラインで開催。10月、11月はヘルスワークショップを開催しました。

10月、11月はヘルスワークショップを開催しました。

#### 【実施日時】

令和2年6月29日、7月31日、8月16日、9月24日

#### 【実施場所】 ZOOMによるオンライン開催

#### 【従事者の人数】 3名

#### 【受益対象者の範囲及び人数】 産休・育休中のかた 不特定多数



## ● 和歌山県再就職支援センターにて

### おしゃべり交流会の開催

（2019年10月～2020年9月まで毎月1回）

#### 【具体的な事業内容】

近い将来働きたいと考えている女性・子育て中の女性を対象とした情報交換・おしゃべり交流会を実施しました。会場には子どもさんの見守りスタッフを配置しています。

ホッピング登録ママ講師®によるミニセミナーも同時開催し、ママ講師®の活躍の場にもなっています。コロナ禍において、5月、6月、7月、8月、9月はZoomを使ったオンラインにて、交流会を行いました。

#### 【実施日時】

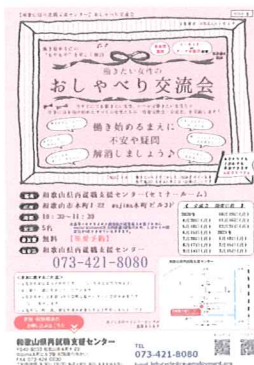
令和1年10月7日、11月11日、12月2日

令和2年1月6日、4月20日、5月18日、6月15日7月20日、8月17日、9月14日

#### 【実施場所】和歌山県再就職支援センター セミナールーム または ZOOMによるオンライン開催

#### 【従事者の人数】 3名

#### 【受益対象者の範囲及び人数】 近い将来働きたいと考えている女性・子育て中の女性 不特定多数



## ママ講師®とは

趣味・特技を活かして日々活動されているママをホッピング登録ママ講師®として登録。

「子育て中だって自分磨きをしたい!」「未来の私にプラスになる活動をはじめたい!」そんなママたちが集まる自助共助コミュニティです。

これから何か始めたい!というかたから、起業を目指す方まで、ステップに応じたサポートをしています。(2019年10月から2020年9月期 登録者数43名)

## 【具体的事業内容】

ママ講師運営事業としては

### 1) プロフィールBOOKの作成

ママ講師®地域社会とを繋げるためのサポートとして、ママ講師®たちのプロフィール、写真、活動経歴、資格等を掲載して冊子にまとめ、行政・企業等に配布しています。



### 2) ママ講師®交流会の開催 (月1回)

いろいろなジャンルのママ講師®が集まって、意見交換や子育てしながらの活動の悩み相談など講師®同士の交流の場となっています。先輩ママ講師®からのアドバイスがもらえたり、交流会に参加することで仲間が増えたり、活動の幅が広がっていきます。

4月から9月まではオンラインで開催しています。

### 3) メールマガジンの配信、Facebookグループでの情報共有

月に1回から2回、事務局よりお仕事や子育てイベントなどの情報を掲載したメールマガジンを配信しています。ママ講師®だけが参加できるfacebookグループでは、講師®同士の情報共有、交流の場となっています。

### 4) ママ講師®の企業への派遣・紹介

行政、企業、グループからの要請に応じて、学習の場へ講師®として紹介しています。

### 5) ママ講師®アカデミーの開講 (年4回)

家庭と仕事を無理なく両立するために、自分らしい生き方、働き方を考え、子育てママがつまずきがちな、家族の理解や自分自身の心の整理をし、「見える化」することによってブランク中の不安要素を取り除き、前向きな社会参加ができるよう様々なワークショップを開催しました。

【実施日時】年間を通して随時

【実施場所】随時

【従事者の人数】4名

【受益対象者の範囲及び人数】趣味・特技を活かして日々活動されている母親





## 養育支援訪問事業育児・家事援助業務（和歌山市より受託）

和歌山市より委託実施計画に基づいて育児援助・家事援助を行います。  
今年度は、コロナの影響もあり、和歌山市からのヘルパーの派遣依頼はありませんでした。

2020年2月13日に和歌山市主催の養育支援訪問事業連絡会議に出席し、訪問ヘルパー同士の情報交換や、意見交換を行いました。

## 和歌山県男女共同参画センター「みんなに男女共同参画」提案事業

【具体的事業内容】「家族で家事シェア作戦会議！～幸せに楽しく暮らすヒントを見つけよう！～」開催

夫婦間・家族間で徐々に大きくなってきがちな気持ちのズレ。しかし、日々の生活に追われ、腹を割って話す機会はなかなか持てない現実…。

そこで、NPO法人ホッピングは「気持ちのズレ」をもたらず一因『家事シェア』について、家族で参加頂き、家族としっかり向き合ってもらおうワークショップを実施しました。

たくさんのお子さまにもご参加頂きました。家族全員が気持ちよく暮らす未来へのビジョンを持ってもらうことが目的です。

現在の家事比率について“見える化”し、夫婦間・家族間のズレがないか確認し、『理想の家事シェア』を家族で作戦会議をしました。

家族でしっかり向き合い、じっくり話し合うことで、家族のきずなを深め、これからの家族の未来について考えていただくことができました。

【実施日時】令和2年2月2日

【実施場所】和歌山県男女共同参画センターりいぶる 会議室C

【従事者の人数】3名

【受益対象者の範囲及び人数】親子

和歌山県男女共同参画センター「みんなに男女共同参画」提案事業

【実施日時】NPO法人ホッピング

### 家族で家事シェア作戦会議！

「名もなき家事」を知ろう！ 「手伝う」から「シェアする」へ 「気持ちのズレ」を解消！

幸せに楽しく暮らすヒントを見つけよう！

2020年2月2日(日) 10:00～12:00

和歌山県男女共同参画センター「りいぶる」会議室C  
(和歌山市平野2丁目1-2 和歌山ビッグ屋9階)

「名もなき家事」と言われる家事について知るチャンスです！  
今現在やっていることが、不慣れなこと、  
ライフスタイルの変化とともに問題が出てきそうなこと、  
今のままでうまくいくと思うことなど、家族で共有しよう！  
たくさん気づきがあるはず！未来の家事プランを立てよう！

参加対象 ご家族で参加できる方  
※お子さまも是非一緒にご参加ください！

定員 先着10組 参加費 無料(※要申込)

女性の再就職・仕事復帰を考えられるご家庭にも役立つ。お子さまにも「今、自分でできること」を積極的に考えていただきます。

お申込み・お問合せ (073)425-8789

お電話 もしくは LINE@からメッセージでもお申し込みください。

NPO法人ホッピング  
073-425-8789  
(受付時間 9:00～15:00)

【申込要】  
和歌山県男女共同参画センター  
NPO法人ホッピング  
073-425-8789  
〒940-0202  
和歌山市平野町58  
http://hopping-npo.org  
info@hopping-npo.org



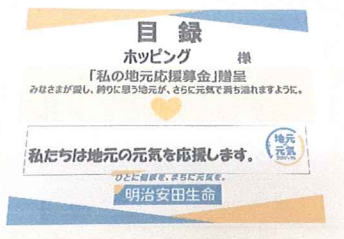
## 寄付・受賞 について

### ●寄付によるご支援

#### 1) 2020年8月

ホッピングの賛助会員である明治安田生命保険相互会社和歌山支社様より「私の地元応援募金」によるご寄付を賜りました。

「私の地元応援募金」は明治安田生命保険相互会社様が「地域の元気プロジェクト」の一環として実施されており、コロナ禍で、地域のために活動する団体等を対象にとして、明治安田生命グループの全社員のかたが居住地や、出身地などゆかりのある地域の団体にたいして、募金と思いを寄せていただいたものに、会社からのご寄付も加え、全国1200団体に対して総額5億円超を寄付されているものです。



#### 2) 2020年4月 イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンによるご寄付

全国のイオンで開催されている「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に2016年度より参加させていただいています。

イオン様がされている社会貢献のひとつで、毎月11日、お買い物の際に発行される黄色いレシートを、応援したい団体の投函BOXにいれると、レシート金額の1%がイオンさんから団体に寄付していただける。という仕組みになっています。

いただいた寄付金は「和歌山市地域子育て支援拠点ドレミひろば」で使用するおもちゃや備品の購入にあてさせていただきます。



### ●「2019年度近畿ろうきんNPOアワード 大賞」 受賞

『趣味や特技・子育て経験を活かそう!これから何かはじめたいママたちの子育て支援・起業支援』プログラムとして、ホッピングのママ講師@事業が「2019年度近畿ろうきんNPOアワード」～はばたきコース～大賞に選定いただきました。

